TERUMO®

メディセーフ®ミニGR-102 取扱説明書 とらのまき

●本書をよくお読みのうえ、医師の指導のもと、正しく安全にご使用ください。
●本書は、いつでも見ることのできるところに保管してください。

ご使用者のお名前

____________________ 様

重要なポイント

知っておきたい大切な注意事項

特に夏場の保管は直射日光・高温を避けて

直射日光を避けて保管してください。また、測定用チップは室温（1～30℃）で保管してください。

特に注意が必要なのは、直射日光が当たる窓際や、車の中などです。高温での保管は測定用チップ（試験紙）が劣化して正しい測定値が得られないおそれがあります。

測定用チップと血糖計が、適切な環境で保管されない状態で測定すると、正しい測定値が得られない場合があります。

特に冬場の測定では、その場の温度になじませて

冬場に血糖値を測定するときは、**測定用チップや血糖計をあらかじめ測定場所（10～35℃）に20分ほど置いて、その場の温度になじませてから**ご使用ください。

（ただし暖房の噴出し口付近に置いたり、ドライヤーなどによる加熱はしないでください）

暖房器具に近づけすぎないでください。

測定用チップと血糖計が、測定する場所の温度になじんでいない状態で測定すると、正しい測定値が得られない場合があります。

必ずお守りください

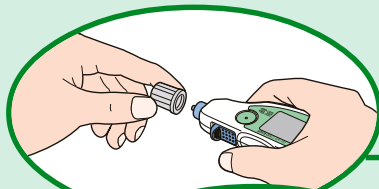
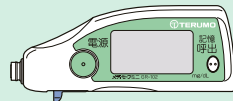
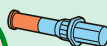
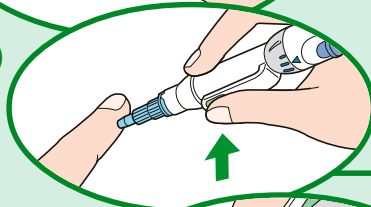
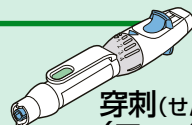
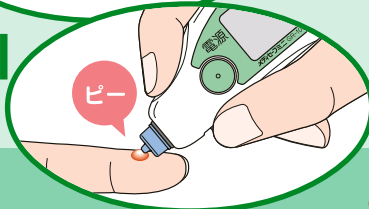
⚠警告

●お使いになる前に、この取扱説明書（とらのまき）をよくお読みのうえ、
必ず医師の指示に従って正しくご使用ください。

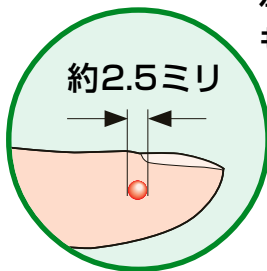
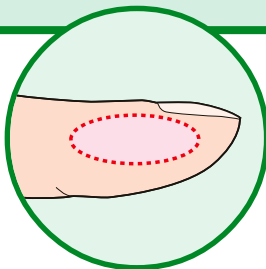
●測定した結果について
疑問を感じたときは、必ず医師に相談してください。
血糖自己測定は、糖尿病の患者さんが自分で血糖値を測定･記録し、医師に変化を知らせることことで、よりよい治療に役立てるための大切な検査です。

●糖尿病の
治療管理は、必ず医師の指導のもとで行ってください。
特に、経口薬、インスリンの量や回数は、本人や家族、介護者の判断で変えないでください。

●もしものために、医師の連絡先を確認しておきましょう。

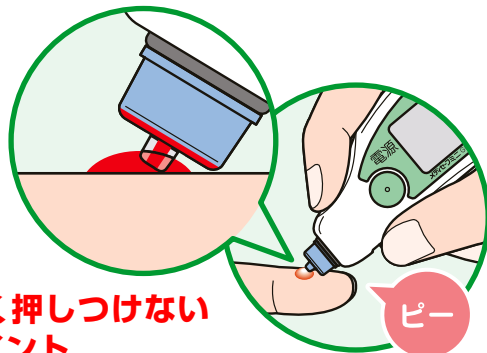
病院名 ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿ TEL ＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿

使いかたのあらまし
チップをつけて
測定用チップ
血糖計
穿刺(せんし)して
穿刺(せんし)ペン
(ファインタッチ®)
針
(ファインタッチ専用)
血液を吸引
ピー
血糖計
穿刺(せんし)
採血や注射などのために、
手指などに針を刺すこと。
約10秒で
測定完了
「ピー」
くわしい使用方法は、この後の手順説明
をよくお読みください。

ご使用上のポイント

指先の側面を穿刺(せんし)

左右どちらの手でも、どの指でも測定できます(23ページ)。

血液の大きさは約2.5ミリ

血が出にくいときは、穿刺(せんし)の深さを調節できます(21ページ)。

血液を吸引するときは皮膚に軽くつける

「ピー」と音が鳴ったら、先端を血液から離します。

皮膚に強く押しつけないことがポイント

目　次

重要なポイント

ご使用の前に

安全にお使いいただくために

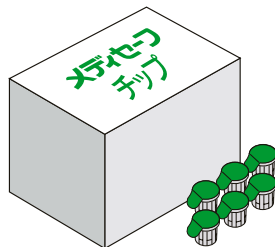
使いかた

お手入れ方法／血糖値あれこれ

困ったときには

その他

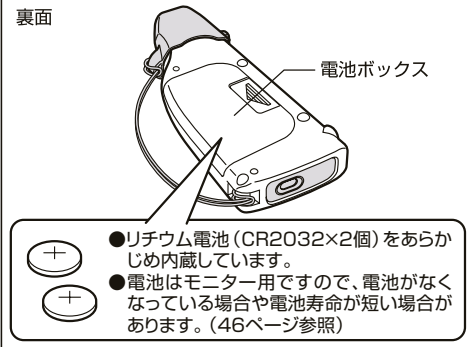
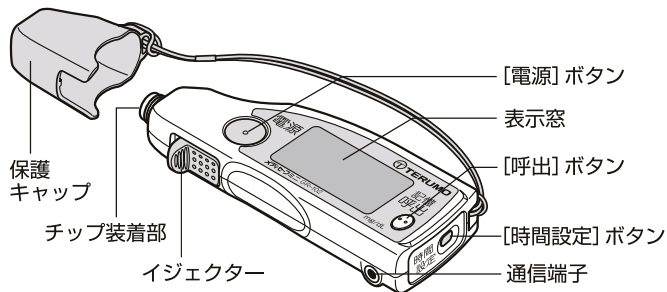
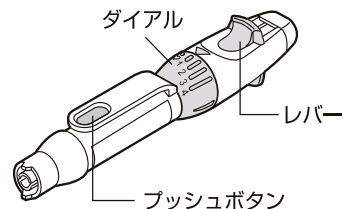
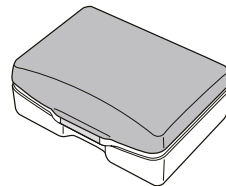
必要なものがそろっていますか？

血糖値を測定するには「メディセーフミニ血糖測定セット」と、
別売の測定用チップ（メディセーフチップ）が必要です。

- 血糖計のみをお買い求めになった場合は、穿刺(せんし)ペン(ファインタッチ)、針(ファインタッチ専用)および測定用チップを別途お買い求めください。(62ページ参照)
- 針(ファインタッチ専用)および測定用チップの使用は1回限りです。

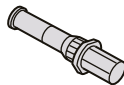
「メディセーフミニ血糖測定セット」には、次のものが入っています。

●血糖計

（あらかじめ日付、時刻を合わせてあります。はじめてご使用いただく際、時刻に誤差が生じているときは、合わせ直してください。54ページ参照）

●リチウム電池（CR2032×2個）をあらかじめ内蔵しています。
●電池はモニター用ですので、電池がなくなっている場合や電池寿命が短い場合があります。（46ページ参照）

●針（ファインタッチ専用／30本）

●テスト用チップ（黒）

●穿刺（せんし）ペン（ファインタッチ）

●携帯ケース

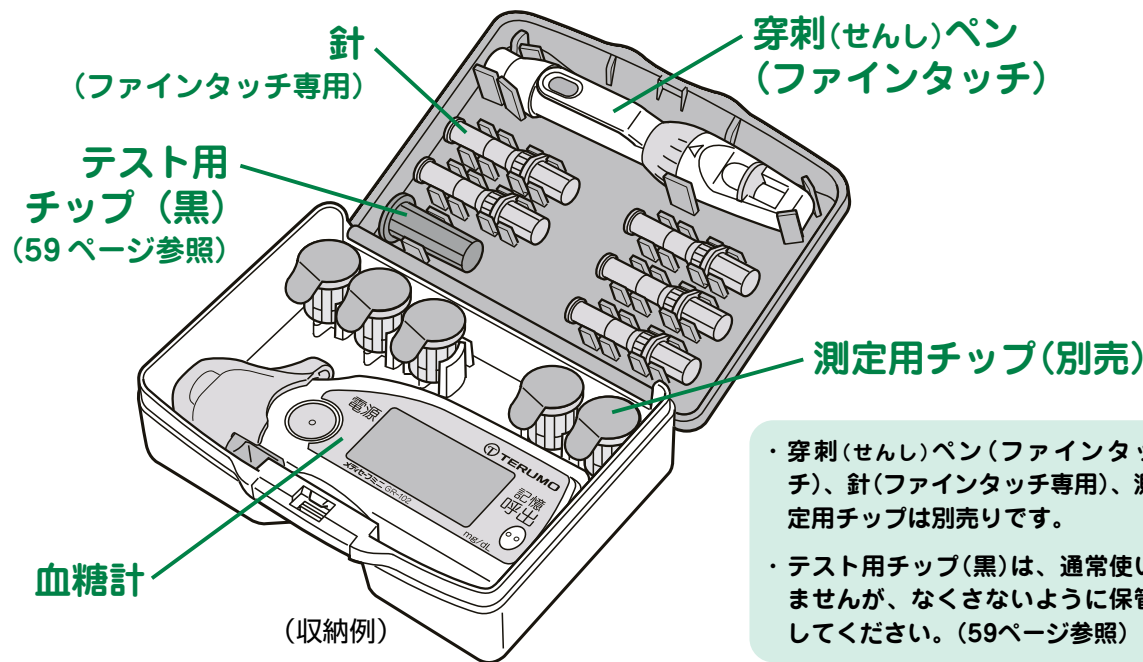
●取扱説明書（本書）
●添付文書

携帯ケースにおさめる

いつでも手軽に血糖自己測定ができ、お出かけの際にも便利です。

（収納例）

・穿刺（せんし）ペン（ファインタッチ）、針（ファインタッチ専用）、測定用チップは別売りです。

・テスト用チップ（黒）は、通常使いませんが、なくさないように保管してください。（59ページ参照）

・添付文書では血糖計をグルコース測定器、穿刺（せんし）ペンを穿刺器具、針を穿刺針と表記している場合があります。

注意文の表示内容について

本書では、表示内容に従わず、誤った使いかたをしたときに生じる危害や損害の程度を次の区分で表示し、説明しています。
表示内容に従わず、本来の目的から逸脱した使いかたにより、万一、死亡や重傷を負ったり、物的損害が発生しても、弊社は一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

⚠禁忌・禁止	絶対に行ってはいけないことを示します。 ・本装置の性能を超える、または不適切な使いかたにより、死亡または重症を負う危険性があります。
⚠警告	特に注意していただきたいことを示します。 ・適正に使用しても、注意を怠ると死亡または重傷を負う可能性が想定されます。
⚠注意	使用にあたり、一般的な注意を示します。 ・誤って使うと、傷害を負う可能性、または物的損害※のみの発生が想定されます。 ※物的損害とは、家屋、家財、および家畜、ペットにかかわる拡大損害を示します。

メディセーフミニをご使用の皆さまへ

⚠禁忌・禁止

●いちど使用した針は、絶対に再使用しないでください。感染の原因となります。

●穿刺(せんし)ペンを保管するときは、針をはずしてください。穿刺の深さの調節が、正常に行えなくなることがあります。

⚠警告

●採血の前には、必ず穿刺(せんし)する部位をアルコール綿などで消毒してください。感染の原因となります。

●採血後は、必ず絆創膏などで止血してください。感染の原因となります。

●血液や血液がついた器具、ティッシュペーパーなどは、他の人が触れないようにしてください。血液を介して感染する原因になります。

●低血糖が疑われる場合は、指先(てのひらも可)から採血してください。この部分以外の部位(前腕部、上腕部など)から採血した場合は、測定した部位により測定値に差の生じることがあります。

●子供の手の届かない場所に保管してください。電池、測定用チップ、チップケースおよびフィルムシールや乾燥剤などは、誤って飲み込む可能性があります。また針や穿刺(せんし)ペンを誤って使用し、針刺しする原因となります。

⚠注意

●血糖計や穿刺(せんし)ペン(ファインタッチ)は分解・改造しないでください。故障やケガの原因になります。

●血糖測定以外の目的に使用しないでください。故障やケガの原因になります。

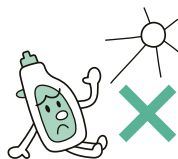
●使用期限を過ぎた針は使わないでください。事故などの原因になります。使用期限は外箱に表示してあります。

●包装が破損、汚損している場合や、製品に破損等の異常が認められる場合は使用しないでください。
特に穿刺(せんし)ペンは故障した場合、針刺しする危険性があります。穿刺操作以外では針の先端に触れないようにしてください。

●血糖計や測定用チップはあらかじめ使用場所に20分以上置いておき、使用場所との温度差をなくしてから測定してください。

●温度10℃～35℃、湿度30%～85%の結露しない場所で測定してください。

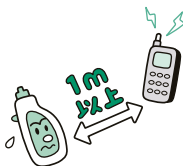
血糖計について

●直射日光などの強い光が当たる場所で使わないでください。光の影響で測れないことがあります。

●落としたり、ぶつけたりしないでください。故障の原因になります。また、自動車のダッシュボードなど、強い振動が伝わる場所に置かないでください。

⚠注意

血糖計について

●携帯電話、マイクロ波治療器など電磁波を発生する機器から1メートル以上離してください。近すぎると正しく作動しないことがあります。

●電池交換の際に、電池に油やホコリ等がつかないようにしてください。故障の原因になります。

●使用済みの電池は、他のゴミと一緒に捨てないでください。また火の中に投入しないでください。事故などの原因になります。

●電池交換のため電池を取りはずしている間は、血糖計内蔵の時計が止まります。電池交換後は、54ページをご覧になり、日付・時刻を合わせ直してください。

測定用チップについて

●ケースが破損したり、汚れているもの、ケース外周のフィルムシールが破れているものは使わないでください。

●使用期限を過ぎた測定用チップは使わないでください。正しく測定できないことがあります。使用期限は箱およびケースのフィルムシールに表示してあります。

●いちど使用した測定用チップは、絶対に再使用しないでください。感染の原因となります。

使いかた

血糖値を測定する手順は、大きく次の５ステップに分かれます。
血糖計の取扱いに慣れるまでは、本書をよく読んで、間違いのないように操作してください。

5ステップの手順をお守りください。

ステップ 1 準備する

1 必要なものを準備する

穿刺(せんし)ペン

針

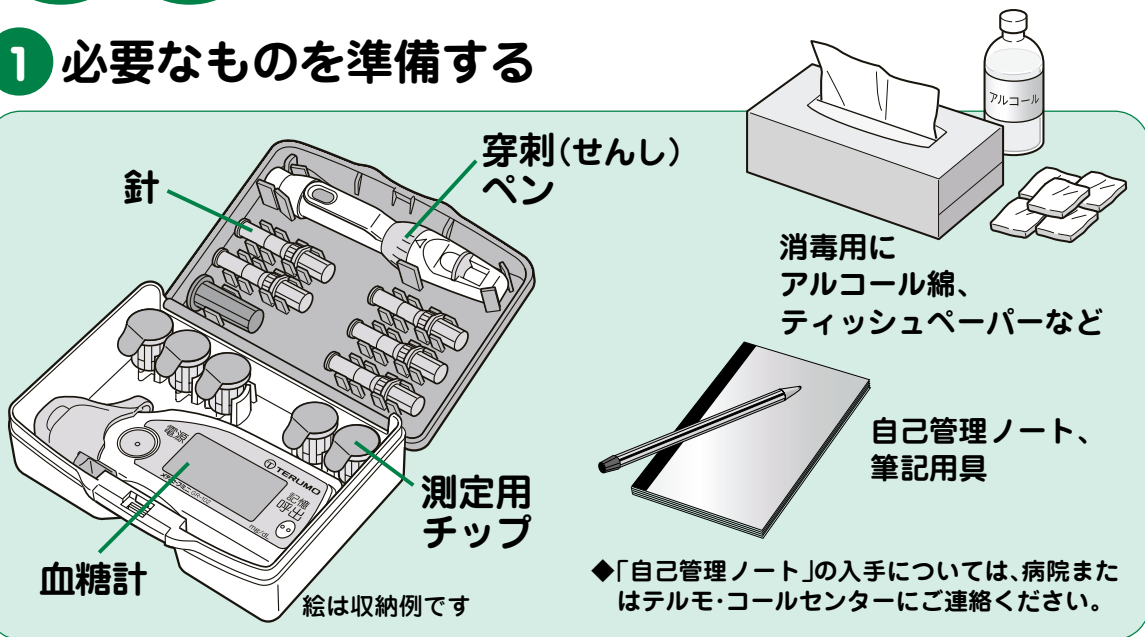
消毒用にアルコール綿、ティッシュペーパーなど

自己管理ノート、筆記用具

測定用チップ

血糖計

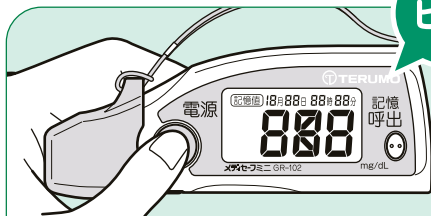
絵は収納例です

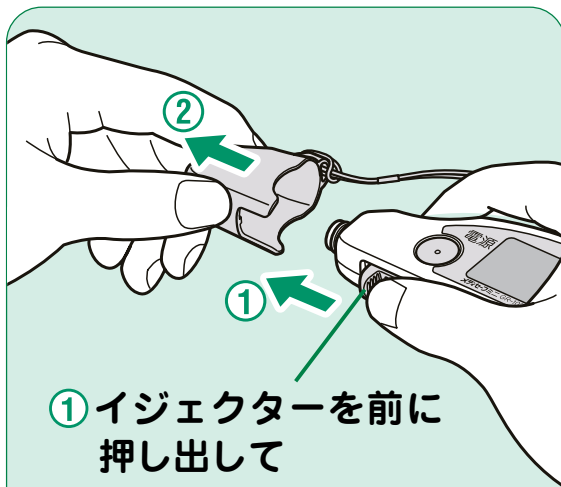
◆「自己管理ノート」の入手については、病院またはテルモ・コールセンターにご連絡ください。

●あらかじめ手を清潔な状態にしてから、測定を始めてください。

ステップ 2

血糖計と測定用チップを使います

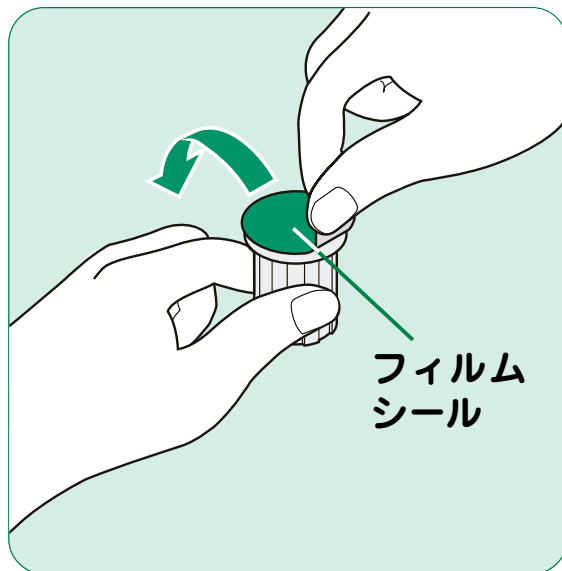
測定用チップをつける

❶［電源］を押す

全部の表示が点灯した後、現在の日付と時刻が表示されます。
それ以外の表示が出るときは、42～47ページをご覧ください。

◆日付・時刻が「1月1日12時00分」と表示されるときは、設定が必要です。54ページをご覧ください。

❷保護キャップをはずす

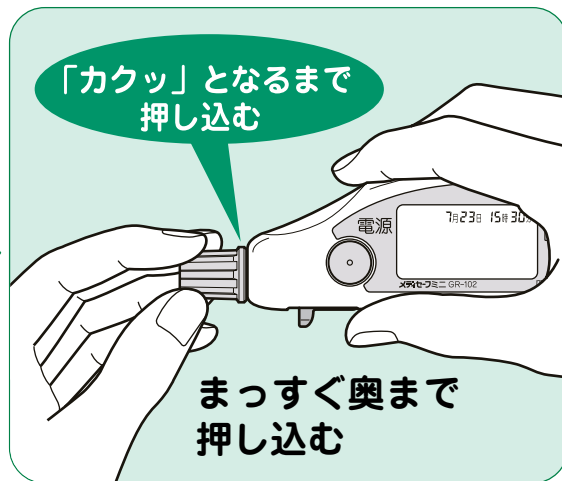
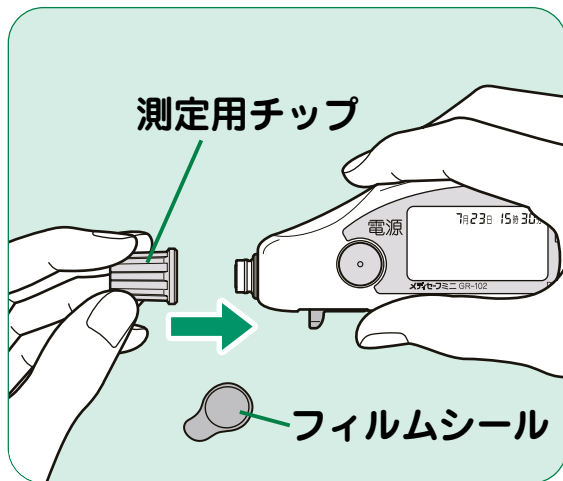
①イジェクターを前に押し出して
②保護キャップをはずす

使いかた

③ 測定用チップのフィルムシールをすべてはがす

◆フィルムシールをはがしたら、すぐに使用してください。時間がたつと測定用チップが湿気をおびて正しく測定できないことがあります。

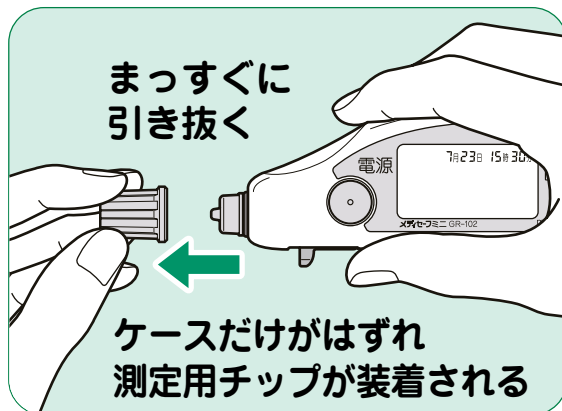
⚠警告

●チップケースは子供の手の届かない場所に置いてください。ケースや中の乾燥剤を飲み込むおそれがあります。

④ 測定用チップを血糖計の先に押し込む

◆装着感(「カクッ」とはまる感じ)があるまで、まっすぐ奥まで押し込まないと正しく測定できないことがあります。

◆このとき、イジェクターには触れないでください。

使いかた

5 チップケースを抜く

チップケースを捨てないでください。かたづけるときに必要です。

⚠注意

● 測定用チップは開封後、すぐに装着して測定をはじめてください。

6 「OK」(オーケー表示)が点灯する

「ピピッ」と鳴って
「OK」(オーケー表示)が点灯します。
できるだけ早く、測定してください。

◆表示が消えているときは、[電源]を押してください。
◆別の表示が出るときは、42〜47ページをご覧ください。
◆日付・時刻が点滅するときは、54ページをご覧ください。